

総則

部会 【午後】

テーマ
自信をもって学び合う子どもたちの姿を目指して ～小糸小学校の校内研究の取り組みを通して～
学年
全学年
単元・領域等
特になし
学習指導要領との関連
<p>【新】 第1章 第3 教育課程の実施と学習評価</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 第1の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。</p> <p>特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。</p> <p>(2) 第2の2の(1)に示す言語能力の育成を図るため、各学校において必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童の言語活動を充実すること。あわせて、(7)に示すとおり読書活動を充実すること。</p>

国語

部会 【午後】

テーマ
伝え合う力を高める授業
学年
第2学年
単元・領域等
主語と述語
学習指導要領との関連
<p>【現】第2章 第1節 第2 〔第1学年及び第2学年〕 2内容</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>(1) 「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(カ) 文の中における主語と述語との関係に注意すること。</p>

社会

部会 【午後】

テーマ
つなげよう、未来をつくろう ～社会科における、自ら問い続け、追究し続ける学びの創造～
学年
第4学年
単元・領域等
安全、安心、みんなの暮らし
学習指導要領との関連
【現】第2章 第2節 第2 〔第3学年及び第4学年〕 2内容 (4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。 ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。 イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

算数

部会 【午後】

テーマ
「単位量当たりの大きさ」の考えとの差異からとらえる「割合」の学習 ～数直線の活用を通して～
学年
第5学年
単元・領域等
百分率とグラフ（割合）
学習指導要領との関連
【現】第2章 第3節 第2 【第5学年】 2内容 D 数量関係 （3） 百分率について理解できるようにする。

理科

部会 【午後】

テーマ
豊かな自然体験をもとに、科学的な見方や考え方を育てる ～？のタネからやってみよう！～
学年
第3学年
単元・領域等
植物を育てよう
学習指導要領との関連
【現】第2章 第4節 第2 〔第3学年〕 2内容 B 生命・地球 （1） 昆虫と植物 身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。 イ 植物の育ち方には一定の順序があり、その体は根、茎及び葉からできていること。 （2） 身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。 ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。 イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。

生活

部会 【午後】

テーマ
スタートカリキュラムを意識した生活科での取り組み
学年
第1学年
単元・領域等
こやとひろば
学習指導要領との関連
【新】第2章 第5節 第2 〔第1学年及び第2学年〕 2内容 〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕 (8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

音楽

部会 【午後】

テーマ
思いをもって歌うことが好きになる 低学年の歌唱指導
学年
第1学年
単元・領域等
ようすをおもいうかべよう
学習指導要領との関連
<p>【現】第2章 第6節 第2〔第1学年及び第2学年〕 2内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。</p> <p>ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。</p> <p>エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。</p> <p>ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。</p>

図画工作

部会 【午後】

テーマ
つくり出す喜びを通して豊かな心を育む
学年
第4学年
単元・領域等
Face to Face
学習指導要領との関連
<p>【新】第2章 第7節 第2 〔第3学年及び第4学年〕 2内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。</p> <p>(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。</p>

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

家庭

部会 【午後】

テーマ
人間性豊かで たくましく 生きる力を育む家庭科教育を目指して
学年
第5学年
単元・領域等
わくわくミシン
学習指導要領との関連
<p>【現】第2章 第8節 第2 〔第5学年及び第6学年〕 2内容</p> <p>C 快適な衣服と住まい</p> <p>(3) 生活に役立つ物の製作について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 布を用いて製作する物を考え、形などを工夫し、製作計画を立てること。</p> <p>イ 手縫いや、ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し、活用できること。</p> <p>ウ 製作に必要な用具の安全な取扱いができること。</p> <p>【新】第2章 第8節 第2 〔第5学年及び第6学年〕 1内容</p> <p>B 衣食住の生活</p> <p>次の(1)から(6)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。</p> <p>(イ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な</p>

取扱いについて理解し、適切にできること。

イ 生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

体育

部会 【午後】

テーマ
運動の楽しさや喜びを味わい、ともに学び合う姿を目指して ～かかわりながら、「わかる」「できる」を目指す体育学習～
学年
全学年（校内研究としての取組）
単元・領域等
器械・器具を使つての運動遊び（マットを使った運動遊び） 器械運動（マット運動）
学習指導要領との関連
【新】 第2章 第9節 第2 〔第1学年及び第2学年〕 2内容 B 器械・器具を使つての運動遊び 器械・器具を使つての運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。 (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。 〔第3学年及び第4学年〕 2内容 B 器械運動 器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その技を身に付けること。

ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技をすること。

(2) 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

[第5学年及び第6学年] 2内容

B器械運動

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付けること。

ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。

(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすること。

道徳

部会 【午後】

テーマ
考え、議論する道徳の授業づくり～教科書を用いて～
学年
第5学年
単元・領域等
主題名「分かり合うために」 教材 「ブランコ乗りとピエロ」（「きみがいちばんひかるとき」光村図書5年）
学習指導要領との関連
【新】第3章 第2内容 B 主として人との関わりに関すること 〔相互理解、寛容〕 〔第5学年及び第6学年〕 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

外国語活動

部会 【午後】

テーマ
小学校外国語活動と中学校英語のつながりを意識した授業作り
学年
第6学年
単元・領域等
We can ! 2 Unit5 「My Winter (Summer) Vacation」
学習指導要領との関連
<p>【現】第4章 第2 〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。</p> <p>(2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。</p> <p>【新】第2章 第10節 第2 2内容 〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>実際に英語を用いた言語活動を通して、次に示す言語材料のうち、1に示す五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>エ 文及び文構造</p> <p>次に示す事項について、日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに、基本的な表現として、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。</p> <p>(ア) 文</p>

- e 代名詞のうち、I、you、he、sheなどの基本的なものを含むもの
- f 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの

総合的な学習の時間

部会 【午後】

テーマ
主体的で対話的な深い学びを実現するための授業・単元づくりの工夫
学年
第6学年
単元・領域等
おまつりを成功させよう ～「働く」って何だろう～
学習指導要領との関連
【新】第5章 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。 (6) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ、全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと。

特別活動

部会 【午後】

テーマ
望ましい人間関係の育成～話し合い活動を通じて～
学年
第3学年
単元・領域等
合意形成する話し合い活動を通して取り組む学級活動「その活動、クラスのためにいいね！」
学習指導要領との関連
<p>【新】第6章 第2 〔学級活動〕2内容</p> <p>1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。</p> <p>(1) 学級や学校における生活づくりへの参画</p> <p>ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決</p> <p>学級や学校における生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。</p>

特別支援教育

部会 【午後】

テーマ
子どもたち一人ひとりが輝き、楽しみながら、達成感を味わえる体育 ～ごっこ遊びの要素を取り入れた活動から、ルールのあるゲームにつなげて～
学年
第1～6学年
単元・領域等
体育
学習指導要領との関連
<p>【現】特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 第2章 第1節 第2款 〔体育〕 2内容</p> <p>○1段階</p> <p>(1) 教師と一緒に、楽しく手足を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。</p> <p>(2) いろいろな器械・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しく行う。</p> <p>(3) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をする。</p> <p>○2段階</p> <p>(1) 歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。</p> <p>(2) いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などに親しむ。</p> <p>(3) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に運動をする。</p> <p>○3段階</p> <p>(1) 歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行う。</p> <p>(2) いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動など</p>

をする。

(3) いろいろなきまりを守り、友達と協力して安全に運動をする。

【新】特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 第2章 第1節 第2款

〔体育〕 2 各段階の目標及び内容

○1段階

(2) 内容

- A 体づくり運動遊び
- B 器械・器具を使つての遊び
- C 走・跳の運動遊び
- E ポール遊び
- F 表現遊び

○2段階・3段階

(2) 内容

- A 体づくり運動
- B 器械・器具を使つての運動
- C 走・跳の運動
- E ポールを使った運動やゲーム
- F 表現運動